

PRESS JUNGO



筑紫野警察署分署の実現 平成二十六年春の開署を目指して



筑紫野警察署

総面積233 Km²(県下第6位)、管内人口約42万人(県下第1位)

管内の治安情勢の推移
刑法犯の認知件数、交通事故の発生件数、110番の受理件数、少年の検挙人員等は県内トップクラスです。(上表)

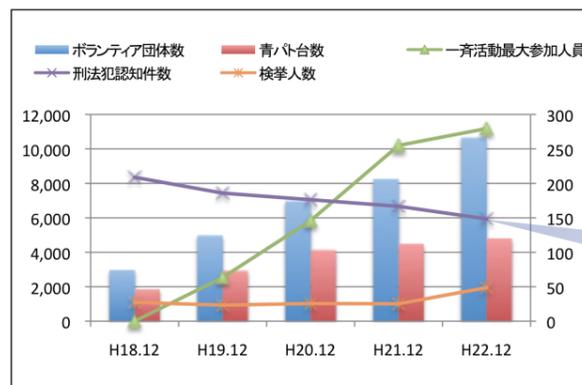
* ()内は、県内の警察署別順位を示す。

筑紫地区待望の警察署が新設されます。春日地区に建設されるこの警察署は、大野城市、春日市、那珂川町を管轄します。平成二十三年度から始め、平成二十六年春の開署を目前に計画を進めています。

警察署の沿革 管内概要

- 明治八年、甘木警察署宰府分屯所として設置、明治十九年、二日市警察署に昇格、明治三十年、署名を筑紫野警察署に改称
- 昭和六十三年、現在地に新築移転
- 筑紫野市、太宰府市、大野城市、春日市及び那珂川町の4市1町を管轄、

	刑法犯		人身交通事故			110番受理件数	少年検挙人員
	認知件数	検挙人員	発生件数	死者数	負傷者数	受理件数	検挙人員
平成21年	6,668件(1)	1,011人(3)	3,455件(1)	13人(1)	4,339人(1)	32,583件(2)	559人(1)
平成22年	5,938件(1)	1,346人(1)	3,595件(1)	19人(1)	4,562人(1)	31,942件(2)	510人(1)



刑法犯認知件数
3割減の目標
5,800件



- 「筑紫地区安全・安心 まちづくり」の関係
- 活動目標
平成十八年の数値を基準にして、平成十九年から二十四年末までに、筑紫地区の犯罪、交通事故、火災の発生件数を3割減少
 - 活動状況(左表)

	H18.12	H19.12	H20.12	H21.12	H22.12
ボランティア団体数	74	124	174	206	266
青パト台数	46	73	103	112	120
一斉活動最大参加人員	0	2,537	5,839	10,202	11,183
刑法犯認知件数	8,354	7,435	7,051	6,668	5,938
検挙人数	1,095	935	1,026	1,011	1,346

井上順吾のプロフィール

私の経歴

- 平成17年 福岡県議会議員初当選
 - 警察常任委員会 委員
 - 九州国立博物館設置対策調査特別委員会 委員
- 平成19年 福岡県議会議員2期目当選
 - 文教常任委員会 副委員長
 - 国際交流推進対策調査特別委員会 副委員長
- 平成21年
 - 総務企画地域振興委員会 委員長
 - 地方分権推進対策調査特別委員会委員
- 平成23年 福岡県議会議員3期目当選
 - 新社会推進商工委員会 委員
 - 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会 委員長

政党活動

- 自民党福岡県連組織委員長
- 自民党福岡県連第5区幹事長
- 自民党福岡県連大野城市支部長

社会地域活動

- (財)大野城市体育協会副会長
- 大野城市スポーツ少年団本部長
- JAPANビーチサッカーネットワーク理事長
- 社団法人日本空手協会福岡県本部顧問
- 福岡県綱引連盟副会長

その他

- 福岡県中小企業対策審議会 委員
- 福岡県消費生活審議会 委員
- 福岡県防衛議員連盟 会長
- 福岡県スポーツ議員連盟 事務局長

井上順吾ホームページ

<http://www.jun-go.com>

日記「順吾の一日」をクリックしてください。

おかげさまで

福岡県議会議員3期目

県政への思い



福岡県議会議員 井上順吾

おかげさまで春の統一地方選におきましては、市民の皆様の大きな支援をいただき三期目の当選を果たすことができました。平成十七年、長年培った行政経験を活かし、皆様の期待に応える「即戦力」の議員になりたいと県政への思いを強くして早や七年になります。「感謝一念」、初心忘れることなく議員活動に邁進し、皆様方からの要望を一つ一つ「かたち」として実現できる喜びを感じています。しかしながら、本年は東日本を襲った未曾有の巨大地震と大津波がもたらした壊滅的な被害と福島第一原発の事故と相次ぐ危機が取り巻いています。国民の生命と財産を守る



福岡県議会 本会議一般質問

国政を担う政府と国会は、国民に振りかかる災難を払い、迫り来る危機を克服する責任があります。一方、私たち地方政治に参画するものは、身近な課題に真正面から向き合い、市民の皆様が安全・安心に暮らせる社会や思いやりのある社会実現に取り組んでいかなければなりません。どうか皆様方の声を聞かせていただき、これからも県政と市政を繋ぐパイプ役として「思いやりのかたち」実現のため更に精進してまいります。



白木原から下大利駅を望む 整備の様子

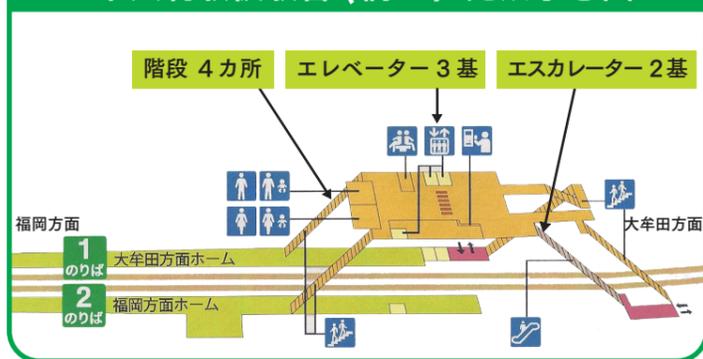
「福祉の駅」実現へ

連続立体交差事業西鉄天神大牟田線(春日原〜下大利)

鉄道踏切を除去します。慢性的な交通渋滞緩和、踏切事故防止、地域の活性化のため、平成三十三年度完成を目指し進んでいる事業です。これまで積極的に県議会でも望み取り組んできた連続立体交差事業です。仮の駅舎であつても、下大利駅が「福祉の駅」になることを大変喜んでいます。

一日約一万六千人が乗降する西鉄下大利駅にエレベーター・エスカレーターを設置するバリアフリーの福祉の駅が平成二十五年完成します。この下大利駅仮駅舎は、階段4カ所、十一人乗りのエレベーター3基、上下各2基のエスカレーターが設置されます。連続立体交差事業は、春日原から下大利まで約三・三kmを連続的に高架するものです。地上を走っている鉄道を高架化することで12カ所の

下大利駅仮駅舎(橋工)完成予想図



井上順吾 事務所 〒816-0954 福岡県大野城市紫台2番5号 TEL.092(595)2006 FAX.092(595)2377 電話 (595)2006